

たのしい  
さわぎを  
おこしたい

株式会社サニーサイドアップ  
中間決算説明会  
2018年2月26日



# INDEX

## 決算ハイライト

1. 連結業績ハイライト
2. セグメント情報
3. セグメント業績ハイライト
4. セグメント売上高推移
5. セグメント営業利益推移
6. セグメント別業績ハイライト
  - (1) マーケティング・コミュニケーション事業
  - (2) スポーツ事業 / bills事業
  - (3) SP・MD事業 / 開発事業
7. 連結業績予想
8. 株価推移
9. 今後の成長に向けて
10. 当社グループの売上高推移

## 活動ハイライト

1. セグメント別トピックス
2. その他トピックス

# 1.連結業績ハイライト

## 2018年6月期 第2四半期累計













(単位：百万円)

	2018年6月期 2Q累計予算	2018年6月期 2Q累計実績	予算比 増減率	2017年6月期 2Q累計実績	前期比 増減率
売上高	7,006	6,849	△2.2%	6,916	△1.0%
営業利益	133	155	16.5%	285	△45.3%
経常利益	135	154	14.1%	426	△63.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	92	48	△47.8%	245	△80.4%

□ 基幹事業の「マーケティング・コミュニケーション事業」において、前期より取り組んでいた人財投資の効果が顕在化し、一部事業の停滞を補い、当初の計画を上回り推移

□ 当社および「マーケティング・コミュニケーション事業」に属する子会社の税負担が増したことにより、純利益は予算を下回った

## 2.セグメント情報

サニーサイドアップ グループ				
マーケティング・コミュニケーション事業	SP・MD事業	スポーツ事業	bills事業	開発事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・P R 事業が中心</li> <li>・企業・団体等に対し、マーケティング・コミュニケーション支援を実施</li> <li>・商業施設の開業PRをはじめ、幅広いPRソリューションを提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店頭における購買機会のソリューション提供</li> <li>・グッズを主体とした企業キャンペーンの企画、開発、実施</li> <li>・OEM製造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに関連するPR、プロモーション、コンテンツの開発</li> <li>・スポーツイベントの企画・運営</li> <li>・アスリート・マネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『bills』のブランディングおよびライセンス</li> <li>・『bills』の海外店舗のプロデュース、ブランディングおよび運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ独自の新規ビジネスの創出・育成</li> <li>・新規ビジネスの立ち上げ、既存事業とのシナジー投資活動を実施</li> </ul>
  			   	   ※持分変更

前第3四半期連結会計期間より、ENGAWA(株)を持分適用会社に変更  
 その他のセグメントに変更ありません

### 3.セグメント業績ハイライト

2018年6月期 第2四半期累計

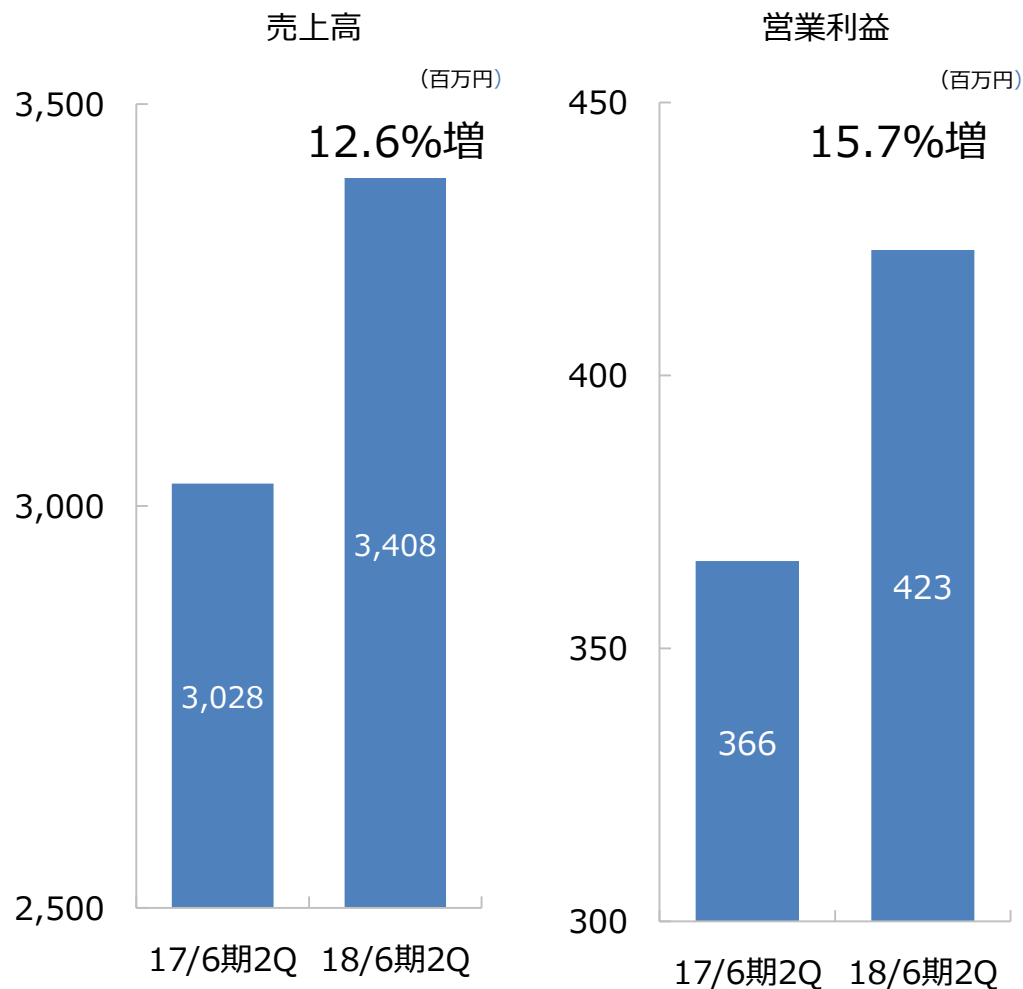
(単位：百万円)

	セグメント 売上高	セグメント 営業利益
マーケティング・ コミュニケーション事業	3,408	423
SP・MD事業	643	▲155
スポーツ事業	507	80
bills事業	2,225	77
開発事業	64	2

- 基幹事業である「マーケティング・コミュニケーション事業」、「スポーツ事業」、「bills事業」が業績を牽引
- 一方、「SP・MD」事業において、大型案件の受注が減少した影響により、連結業績のマイナス要因となった
- 「bills事業」においては、新店出店コストの計上の一時的に営業利益を圧迫

## 6.セグメント別業績ハイライト(1)

### マーケティング・コミュニケーション事業 –増収増益を達成

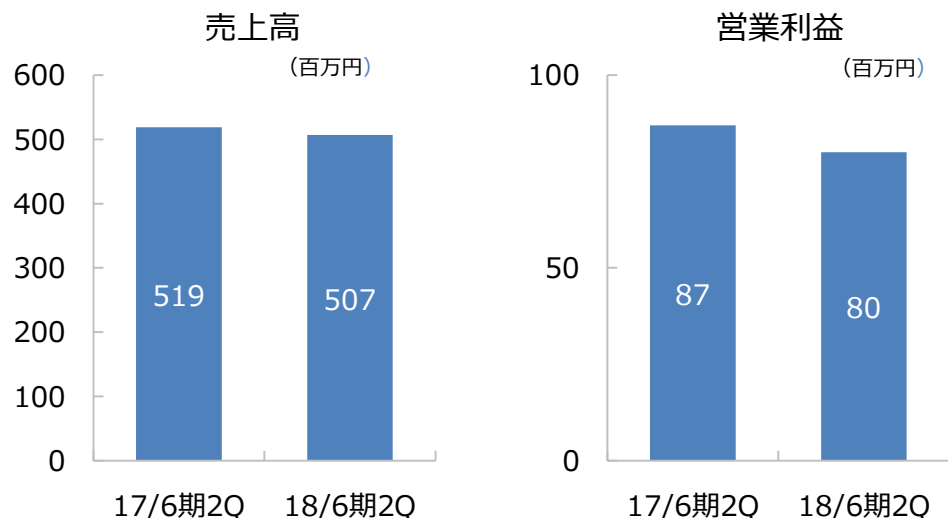


- 話題性を創出する企画力と強力なメディアネットワークを活用し、従来の得意分野に加えて、首都圏で次々と開発がすすむ首都圏を中心とする話題に商業施設の開業PRおよびプロモーション、大手CVSチェーン等によるPR連動プロモーション、自治体を連携した公道イベント等の幅広い領域において幅広い案件を数多く受注

- 積極的な人財投資が企画面、営業面における競争優位性に繋がり、業績に寄与。
- 好調に推移する当事業では、拡大するマーケティング市場を見据えて、事業基盤を強化すべく、人財投資を継続
- また、子会社(株)クムナムエンターテインメントが手掛けるキャスティングノウハウを活用した企業ブランディングも引き続き、好調に推移

## 6.セグメント別業績ハイライト(2)

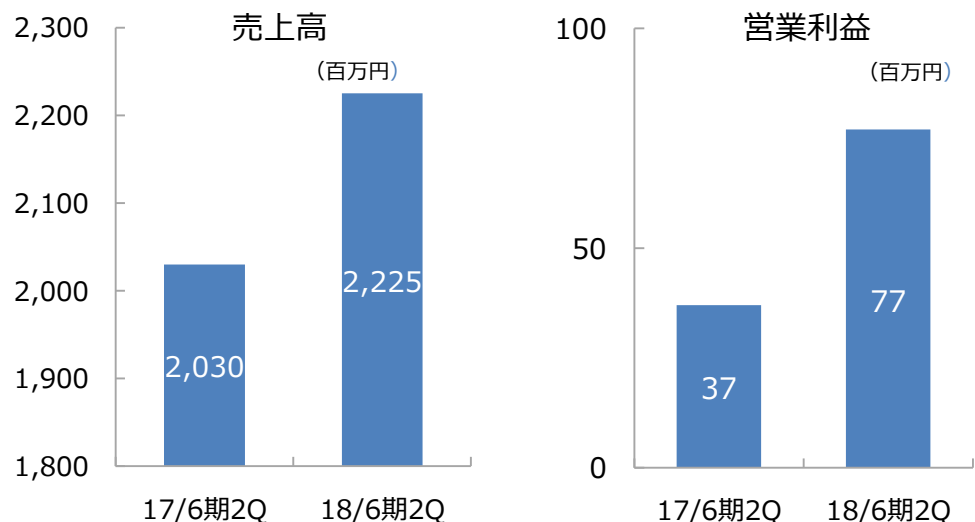
### スポーツ事業 – 前年並みに推移



- 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えて企画・営業を積極的に遂行
- 当社所属のアスリート・文化人の関連ビジネス、日本ラグビーフットボール協会の年間活動のサポート、プロスポーツチームのマーケティング・サポート等の既存事業が堅調に推移

- スポーツ市場の更なる拡大を見据えて、アスリートのマネジメントにとどまらずに、スポーツに関する総合的なソリューションを提供すべく、組織強化に取り組む

### bills事業 – 増収増益を達成

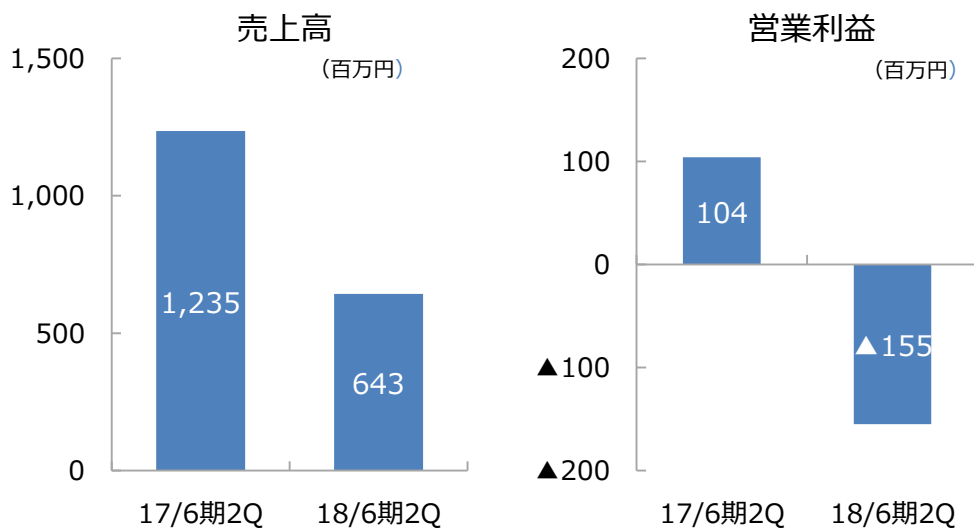


- 前連結年度に「bills 福岡」、「bills 銀座」を出店したことに加え、国内既存店が堅調に推移、海外店舗の収益性が改善したことにより、増収増益を達成
- 2017年11月に関西エリア初出店となる「bills 大阪」を出店。オープン初日より大反響を呼び、好調なスタートを切った

- 1号店（七里ヶ浜）の出店から10年を迎えるが、いまだに話題を創出できるのは、当社グループのPR力の強みならでは

## 6.セグメント別業績ハイライト(3)

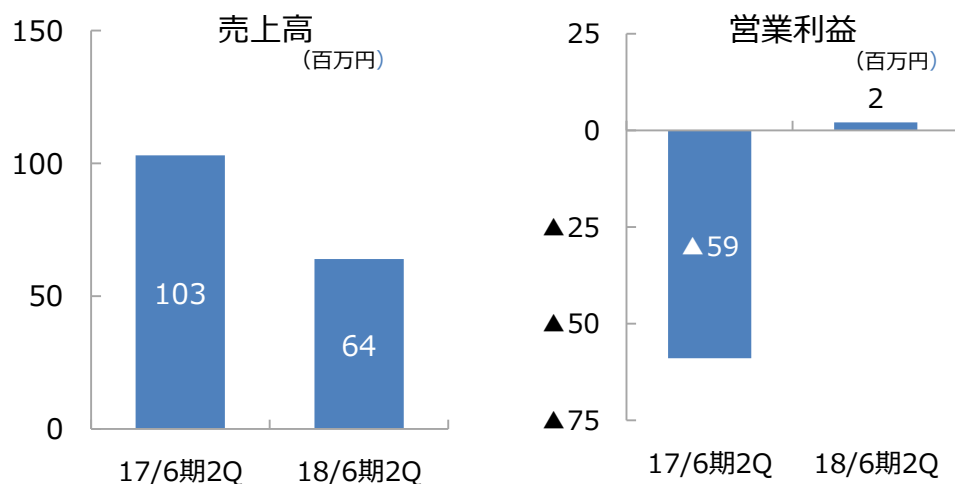
### SP・MD事業－減収減益



- 大型案件の受注が減少した影響により減収減益
- 需要の波が大きい特徴を持つ本事業を安定収益化するため、営業力の強化に加え、前連結会計年度より取り組んでいる「プログラミング用教育アプリ事業」の推進、また新たに化粧品雑貨等の自社企画販売事業を開始

- 中長期的な成長を見据え、リソースの最適配分も思考しながら、新たなビジネススキームの転換に取り組む

### 開発事業－黒字化を達成

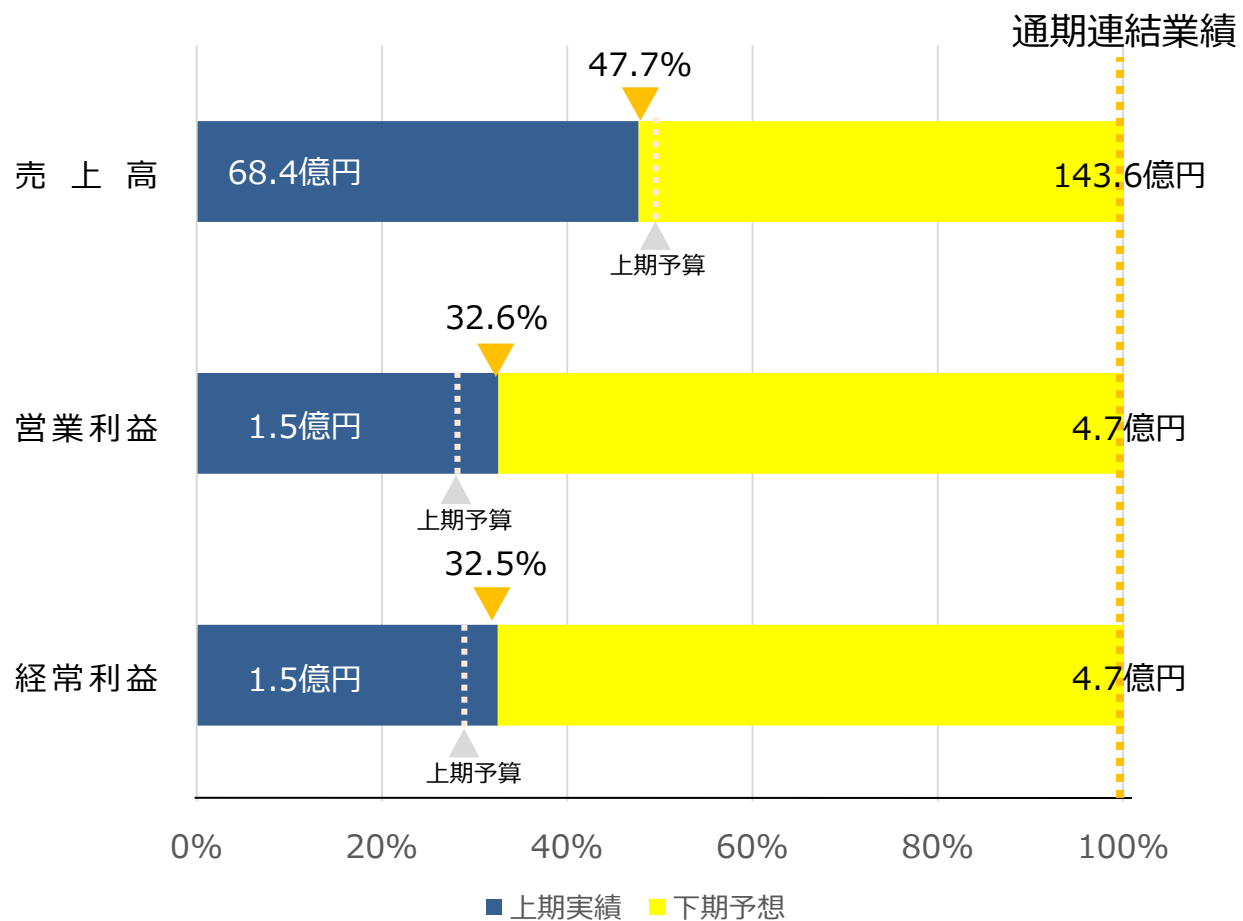


- (株)エアサイド、(株)サニーサイドアップキャリアの既存2社の事業が進捗
- 前第3四半期連結会計期間より、ENGAWA(株)を持分法適用会社に変更したことにより、売上高が減少した一方で、黒字化を達成



# 7.連結業績予想

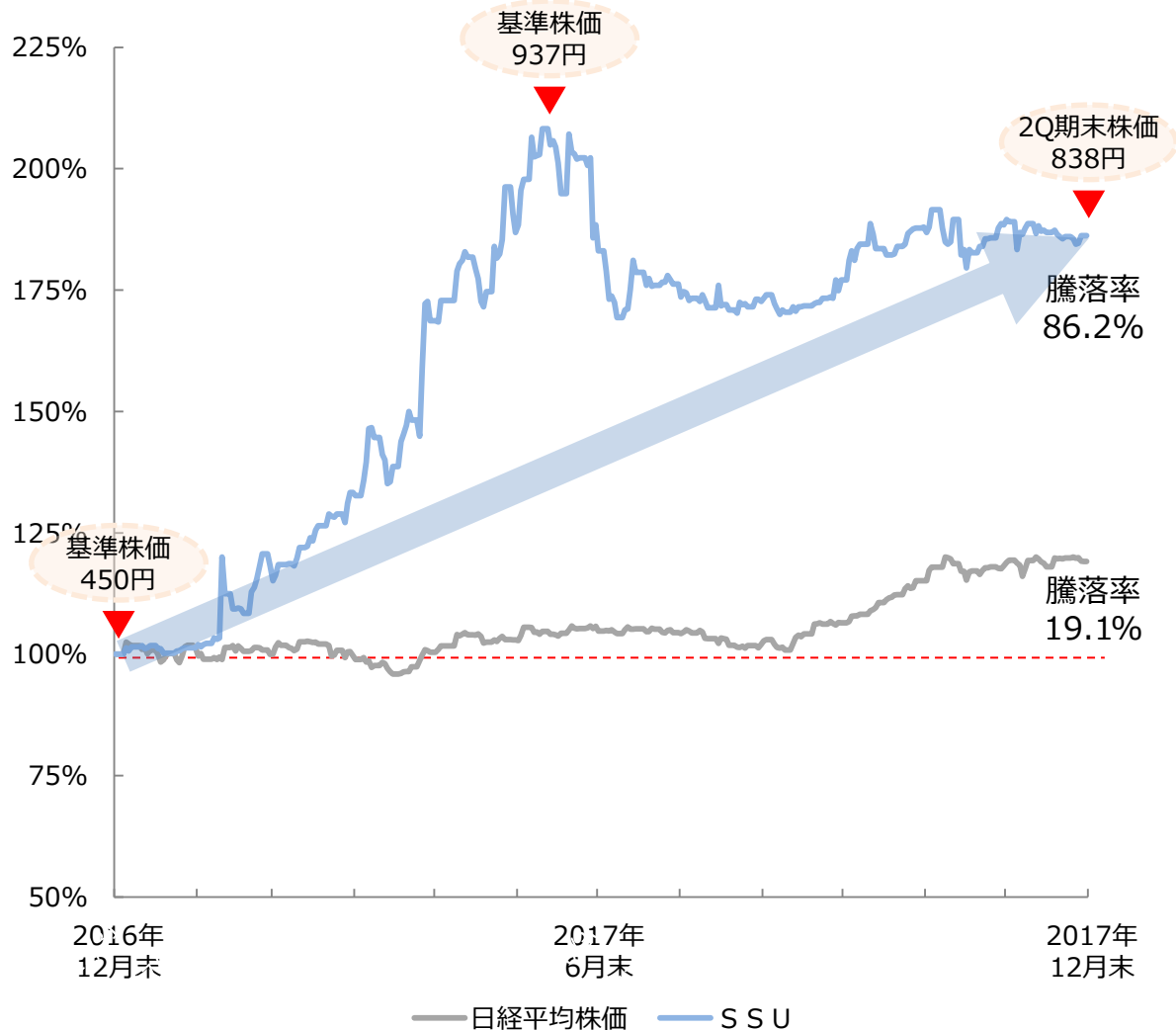
## 2018年6月期通期連結業績予想



□ 上期の実績、下期の現状の見通しを勘案した結果、通期連結予想値は変更なし

□ 期末の配当については、1株当たり10円を予想

## 8. 株価推移



- 当社株価は株式分割を経て順調に推移
- 2016年12月末に比較し、当社の株価は1.8倍超
- 日経平均を上回るパフォーマンス

(注) 2016年12月末の株価を基準とする。当社の株式は分割を加味し、調整後株価で試算

## 9.今後の成長に向けて

### 1. 組織力の強化

- 積極的な人財投資を継続
- 業務効率化による収益構造の改善
- 『働き方改革』へ取り組み

### 2. グローバルビジネス展開の地盤固め

- 「Stevie® Awards」等の世界的なビジネスアワードを多数受賞したことで、海外からの引き合いが増加中
- グローバルビジネス展開に向けて海外企業とのアライアンスも積極的に検討

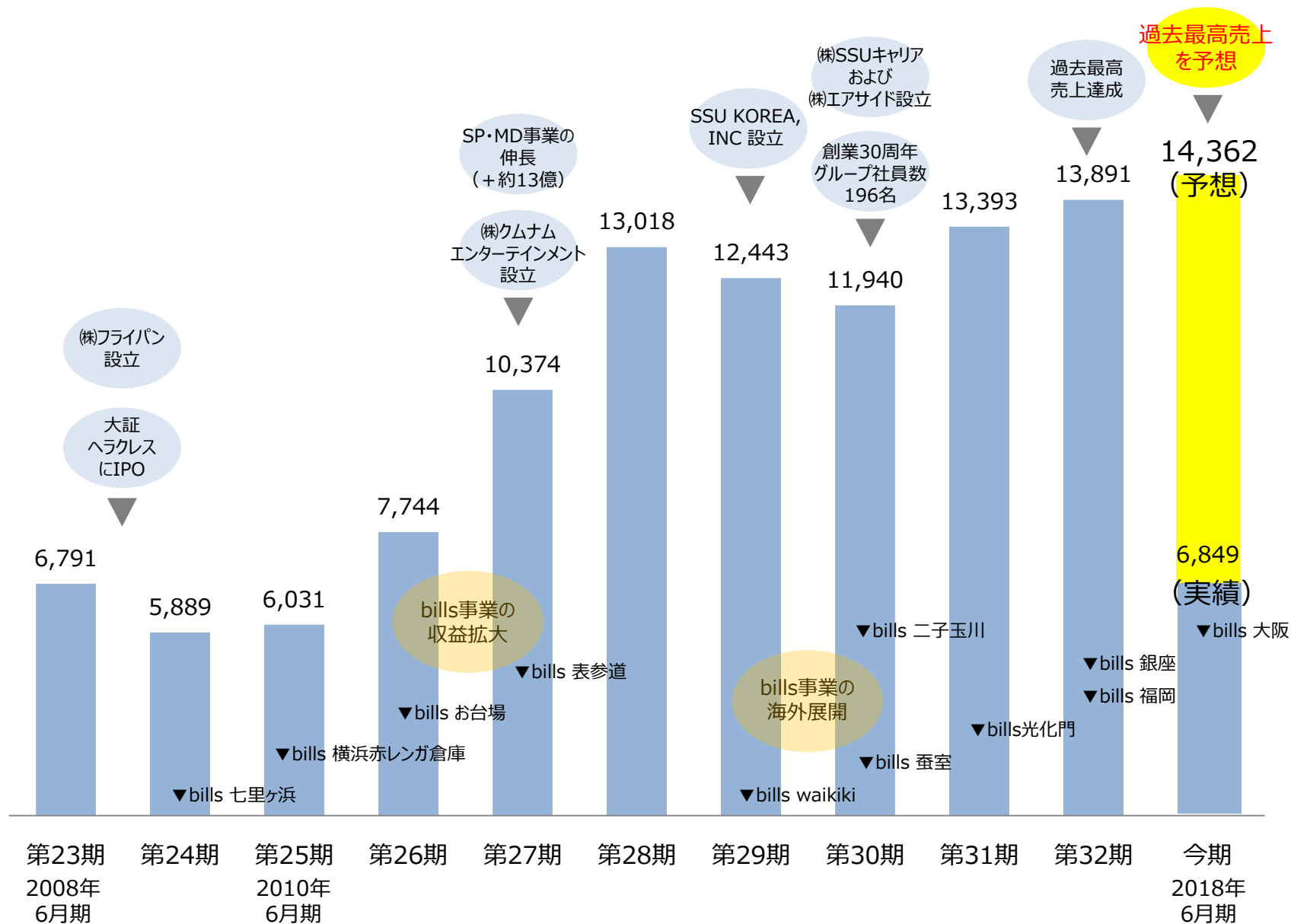
### 3. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

- 『スポーツ銘柄』とも標榜される当社にとって、2020年の東京オリンピック・パラリンピックは、当社がグローバルなスポーツカンパニーに変貌を遂げる、またとないチャンスであり、機会を逃さぬよう、戦略的に取り組みます

### 4. 経営リソースの効率的な投下

- 市場の急激な変化に対応し、成長を加速させるべく、事業の集中と選択を思考

# 10.当社グループの売上高推移





## 活動ハイライト

# セグメント別トピックス

## マーケティング・コミュニケーション事業

- ・ 順調な拡充をし続けるPR&プロモーション事業は、話題の案件を多数受注
- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて開発が進む話題の商業施設などの開業PRおよびプロモーションを数多く受託  
-前期の「GINZA SIX」の開業PR・プロモーションに続き、今期は上野御徒町エリアの新たなランドマークタワーである「上野フロンティアタワー」の開業PRを受注  
-インバウンド需要で活況を呈する、ラグジュアリーホテルのPRを受注
- ・ グループ会社(株)クムナムエンターテインメントが展開するキャストイング×企業ブランディングは引き続き好調に推移

## SP・MD事業

- ・ グループ会社(株)ワイズインテグレーションでは、SP領域における『リーディング・カンパニー』としての知見を活かし、大手チェーンのキャンペーンを数多く手掛ける

## スポーツ事業

- ・ 当社所属のアスリート・文化人の関連ビジネス  
-中田英寿をはじめとするアスリートおよび文化人の関連ビジネスは堅調に推移  
-日本を代表するトップアスリートである白井健三選手の広告出演契約に伴うマネジメント業務窓口（シンボルアスリート契約に伴う業務は除く）を受託  
-今期、あらたに成田緑夢選手（男子パラスノボード 2017年度世界ランキング1位）とのマネジメント契約を締結
- ・ 日本ラグビーフットボール協会の年間活動サポートおよび2019年日本開催のラグビーワールドカップ関連イベントを開催
- ・ その他、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた企画・営業を積極的に推進

## bills事業

- ・ 国内事業：関西初出店の「bills 大阪」が好調なスタート。既存店「bills 表参道」・「bills 銀座」はインバウンド需要を取り込み順調に推移する等、収益基盤の強化が進む。
- ・ 海外事業：「bills Waikiki」をグローバル戦略の旗艦店としてブランディング強化。今後の海外展開拡大を見据える。
- ・ 1号店の出店から、2018年で10年目を迎え、店舗数は10店舗（国内7店舗、海外3点）まで拡大

## 開発事業

- ・ 黒字化を達成

# その他トピックス

## 当社の「働き方改革」への取り組みについて

- 年末に有給休暇等の取得を推進することで、最大17日間の超大型年末年始休暇を取得できる「プレミアム ホリデー」を実施
- 多忙なイメージがある広告・PR業界の企業が、あえて先頭に立って「休み方改革」を推進し、仕事の質を高めていくことで、現状の「働き方改革」がさらに価値のあるものとなるように後押し

## ダガヤサンドウ プロジェクト 公式PRエージェントに決定

- 渋谷区観光協会から、「ダガヤサンドウ プロジェクト 公式PRエージェント」として公認
- 「ダガヤサンドウ」とは、渋谷区に位置する千駄ヶ谷と北参道周辺をあわせたエリアであり、東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場も近くにあることから、2020年に向けて東京で最も注目を集めるエリア
- 自分達が働く街をもっと素敵な街にしたいという思いから、情報発信に取り組みます

## アワード受賞・グローバルビジネス展開への礎を固める

- 前連結会計年度より「Stevie® Awards」等の世界的なビジネスアワードを多数受賞したことで、海外からの引き合いが増加中
- グローバルビジネスを当社グループの新たな成長エンジンとするべくその礎を構築中
- 拡大するビジネスチャンスを見逃さぬよう、海外企業とのアライアンスも積極的に検討



- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

以上、ご承知おきください。

＜本件に関するお問い合わせ＞

株式会社サニーサイドアップ グループ管理本部 経営企画部 TEL : 03-6894-2241 FAX : 03-5413-3052 mail : ir@ssu.co.jp